

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション・ビジョン

UPGRADE JAPANをミッションとし、AIでデータの真価を解き放ち産業の常識を塗り替える

AIビジネス市場
1.3兆円から2.0兆円円SDGs関連市場
10.4兆円円

② 中長期の経営戦略

1. 共同研究開発（Joint R&D）

各産業大手企業とのパートナーシップでAI活用を推進。大手企業の予算・人的リソース活用で開発費用を抑制し、フロー型とストック型の複合収益を実現

2. 産業全体への横展開

自社保有プロダクトとして複数企業にAIソリューション提供。既存プロダクト活用で粗利率改善し、収益性向上するビジネスモデルを実現

3. 非労働集約事業の推進

自社AIソリューション中心の非労働集約的収益獲得を目指し、AIエージェント・LLM活用等の新プロジェクト機動的に対応

③ 対処すべき課題

① 産業・顧客基盤の拡張

- ・ 特定産業に依存しない再現性の高い事業展開を継続
- ・ 既存実績・知見を活用し新規産業への展開と顧客基盤拡張

② ソリューション強化と新規開発

- ・ 既存ソリューションの新産業・顧客への展開
- ・ 機能追加・効率化による既存強化と新規開発投資を継続

③ 人材確保・育成と技術力強化

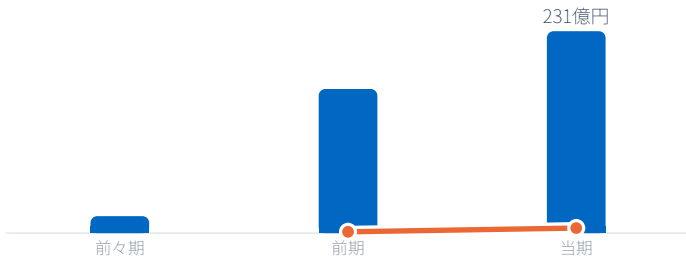
- ・ データサイエンティスト・エンジニア・コンサルタント等の優秀人材確保
- ・ 東京大学との連携やKaggle金メダル獲得、国際論文発表等で最先端技術に投資

面接で使えるポイント

- ・ UPGRADE JAPANというミッションのもと、AIでデータ活用による産業課題解決を実現する点に共感できるか
- ・ 2022～2027年に1.3兆円から2.0兆円へ拡大するAI市場で…
- ・ 東京大学との連携やKaggle金メダル獲得など、最先端技術力と社会実装の両立を重視する企業文化に自分の力をどう貢献させる…

証券コード 4418

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
231億円営業利益率
2.5%財務健康度
42点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 62.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
961万円

情報・通信業内 36位/592社

平均年齢
36.3歳

情報・通信業内 392位/593社

平均勤続
1.6年

情報・通信業内 590位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株) J D S C 【4418】：決算情報

